

令和7年度
校長だより

あかつき 6月号



～ あかつき山の麓から感謝を込めて ～



丹波市立新井小学校 校長 荻野由香里

梅雨の時季になりました。地域の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の学校教育活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

新井地区では、昨年度より「新井こども食堂」がスタートしています。今年度は、5月31日（土）に1回目が開催されました。その日のメニューはカレーライスとサラダでした。さらに子どもたちに人気の新じゃがのフライドポテトとデザートゼリーも用意してくださいました。多くのボランティアさんが朝早くから準備してくださり、たくさん子どもたちが参加しました。食事を囲みながらの交流は、子どもたちだけでなく、保護者や地域の皆様にとっても楽しいひとときとなりました。子どもたちはもちろん、ボランティアとして参加された方々の笑顔も印象的で、世代を超えて地域の絆を深める貴重な機会になっていると感じました。同じ食事をとりながらのコミュニケーションは親近感が増しますね。お世話になりました皆様に心より感謝申し上げます。

学校では、5月下旬から6月上旬にかけて、5年生が自然学校、6年生が修学旅行へとそれぞれ大きな行事を経験しました。これらの活動は、五感を通して「体験から学ぶ」貴重な教育活動です。6年生の修学旅行は広島と宮島を訪れました。広島では平和セレモニーを開き、「戦争の悲しみや苦しみを次の世代へ伝えていく」「戦争が二度と起きないように、自分達が行動していく」「平和な未来を創っていく」という思いを込めた平和宣言を読み上げ、平和への祈りを込めた歌「折り鶴」を歌いました。広島には国内外から大勢の観光客が来ておられましたが、子どもたちが平和セレモニーをしている様子を静かに見ておられました。子どもたちのひたむきな姿や思いは、国を問わず多くの人の心を打つのだと感動しました。原爆資料館では、80年前、現実起こった悲惨な出来事に目をそむけたくなるような展示もありましたが、改めて、平和な日常を壊し、人々の命や心を奪う戦争を二度と起こしてはならないという強い思いをもちました。宮島では世界文化遺産・厳島神社を訪れ、歴史や文化に触れながら友だちと楽しい時間を過ごしました。1泊2日の修学旅行を通して、平和について真摯に学ぶとともに、仲間と笑顔で過ごすこの時間こそが「平和」であると感じ、子どもたちの笑顔を守るために、大人として何ができるかを考え、行動することの大切さを改めて実感する修学旅行となりました。



【新井小学校平和セレモニー】